

大麦栽培ごよみ

黒部市農業協同組合
新川農林振興センター

平成31年 品種：ファイバースノウ

『品質目標』 品質ランク格付け Aランク
●容積重 690g/l以上 ●細麦率 2.2mm下に2.0%以下
●白度 43以上 ●硝子率 40%以下

350kgとり栽培の要点

<収量構成要素> m²当穂数 450本(苗立数150本×1株穂数3本)
1穂収量 1.05g(1穂粒数30粒×千粒重35g)

①麦づくりは排水第一

集団化とともに、稲刈り直後に額縁排水溝を設置する。(手直随時実施)

- ②土づくりの実践：石灰質資材と堆肥等の有機物の施用
- ③種子更新を行うとともに適期播種を行う。耕起播種は一日のうちに。
- ④積雪前に排水溝の手直しを行う
- ⑤消雪後追肥で茎数・穂数確保
- ⑥的確な防除で品質向上＝赤かび病防除の徹底

m²あたり
茎数
(本)

800
600
400
200

600~800本/m²



積雪期間

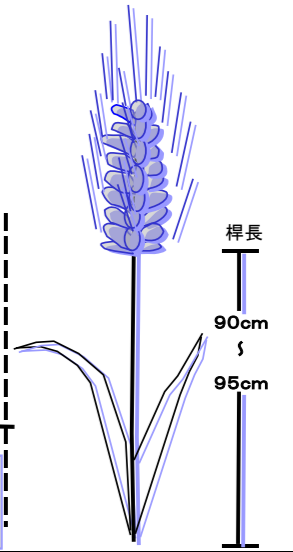


節間伸長期

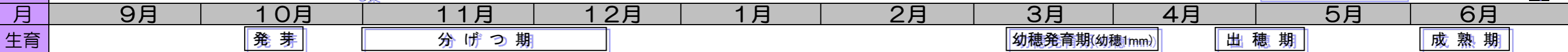
結実日数
40~45日

m²穂数 450本

積算温度750℃



大麦の生育

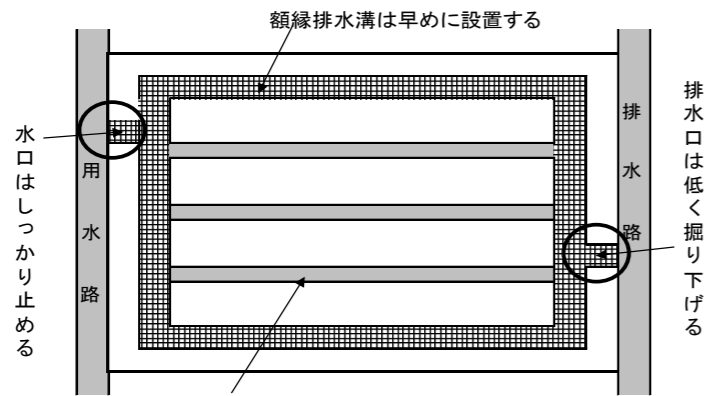


月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
生育		発芽	分けつ期				幼穂発育期(幼穂1mm)	出穂期		成熟期	
作業	①排水対策 (稲刈後すぐ排水対策)	②土壌改良資材等施用 ③種子の準備 ④播種作業 (耕起・播種・基肥施用) 1日で完了する	⑤第1回追肥 (播種1か月後)	⑥排水溝の手直し		⑥排水溝の手直し (融雪水の排水)	⑤第2回追肥 (消雪後直ちに)	※茎立期追肥 (茎数不足の場合)	⑤第3回追肥 (止葉展開期(出穂の12日前))	⑦赤かび病防除①(穂揃期) ⑦赤かび病防除②(1回目から7日後) ※加入ハイトウの抜き取り	⑧収穫 (刈取り)

栽培管理のポイント

① 排水対策

- ・稲刈り後、早急に額縁排水と基幹排水溝を設置する
- ・発芽率、苗立数の確保の為に排水対策はしっかりと
- ・透水性の悪いほ場では、心土破碎を行う



・作溝、ほ場排水

うね幅
排水不良 → うね幅2m程度
標準 → " 3m程度

- ・ほ場が乾き、条件の良いときに作溝する
- ・溝は巾(30cm)、耕盤(約20cm)より深く縦浸透を図る
- ・うね立て後、両肩の山をならし、カマボコ型とする

② 土壌改良資材施用

- ・pH6.0を目標に、石灰質資材を耕起前に必ず施用する

区分	肥料名	施用量
土壌改良資材 (酸度矯正)	珪酸石灰	100~200kg
	チャンピオン	60kg
有機物	堆肥	2t
	発酵けいりん	100~200kg

③ 種子の準備

播種時期	播種量		目標苗立数 (本/m ²)
	散播	ドリル播	
10月上旬	7~8kg	6.5~7.5kg	150
10月中旬	9kg	8.5kg	200

種子消毒の方法	
風呂湯浸法	42℃の風呂湯に10時間浸漬し、自然に温度を下げる
循環式催芽器	45℃の温湯に入れ、2.5時間浸漬する(時間厳守)
薬剤粉衣	ベンレートT水和剤20を乾燥種子重量の0.5%粉衣
	種子10kgに水200mlを加用し、50gの薬剤を均一に混和する

④ 施肥・耕起・作溝・播種

- ・ほ場の乾いたときに、上記の1連作業を1日で完了する
- ・播種適期は上記記載とおりとして、10月上旬、遅くとも10月中旬までに播き終える。事前の排水対策が大事!!

基肥(10aあたり)		
区分	肥料名	施用量
分施体系	BB特15号	45kg
一発体系	LP大麦48号	45kg

⑤ 追肥(分施体系の場合)

追肥	時期	肥料名	施用量
1回目	播種1か月後 (11月上旬)	硫安	20kg
2回目	消雪直後 (2月下旬)		20kg
*茎数不足の場合のみ	茎立期 (3月下旬)		10kg以内
3回目	止葉展開期 (4月上旬、出穂12日前頃)		10kg以内

※葉色5以上、穂数500本/m²以上の場合は追肥しない

⑥ 排水溝の手直し

- ・排水対策は、大麦栽培の”かなめ”
- ・11月下旬の降雪前、2月下旬の融雪期の他生育期間中に随時、排水溝の手直しを行う

⑦ 赤かび病の防除

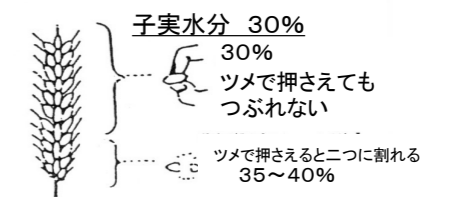
- ・赤かび粒の混入限度は0.0%(検査規格)
- ・出穂後2週間が感染しやすい時期まで遅れないよう2回の防除を徹底する。(液剤の方が防除効果大)

基本防除(赤かび病10aあたり)		使用する際はVAL等で確認し使用基準を遵守する			
防除時期	薬剤名	薬使用量 (希釈濃度)	希釈水量	使用回数	収穫前日数
1回目(穂揃期)	トップジンM水和剤	150ml (1000倍)	150%	出穂期以降1回	30日前迄
	トップジンM粉剤DL	4kg	-		
2回目(1回目の7日後)	ストロビーフロアブル	75ml (2000倍)	150%	3回以内	14日前迄
	ワークアップ粉剤DL	3kg	-		

⑧ 収穫

- ・出穂後40~45日頃
- ・穂軸、茎葉が完全に黄化し、子実水分30%をめやすに収穫開始

○刈取期の目安



穂軸、茎葉が完全に黄化し、粒の大部分がツメで押さえてもつぶれない

○乾燥

- ・通風乾燥機の送風温度は粒より5℃高くし仕上げ水分13.0%とする。

○選別

- ・ライスグレーダの網目は2.3ミリで粒揃いの良いものに仕上げる。